

小牧市公共施設アダプトプログラムの手引き

小牧市

令和2年9月

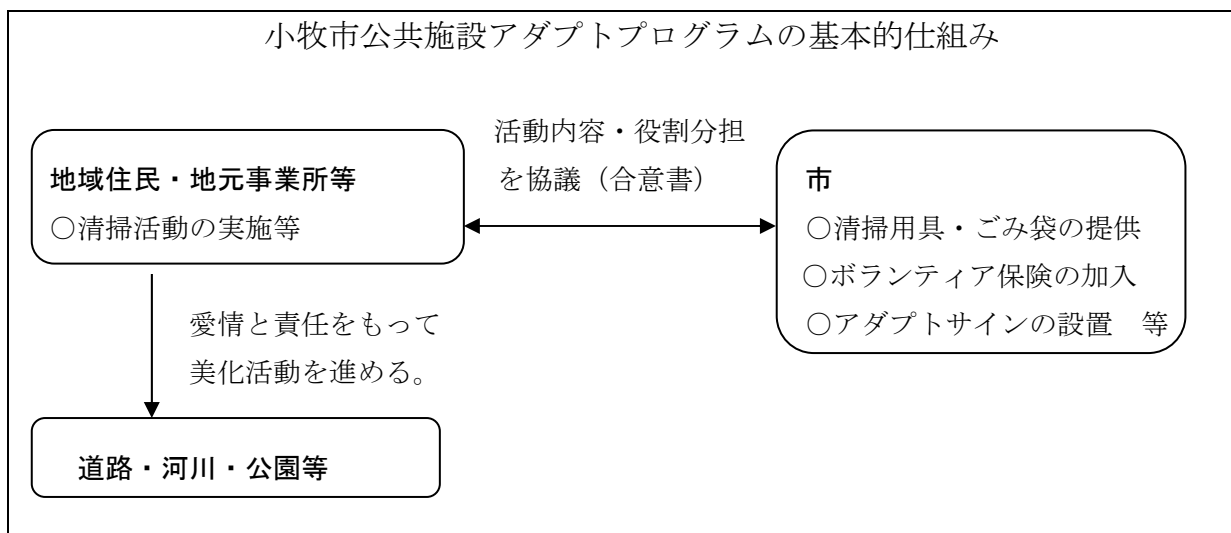
アダプトプログラムとは

アダプトプログラム（ADOPT PROGRAM）は、1985年（昭和60年）にアメリカで生まれた新しいまち美化の取り組みです。アダプト（ADOPT）とは英語で養子にするという意味があります。

小牧市がこの制度を導入する目的は、環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民と市の協働による環境美化を推進するためです。

具体的には、ボランティアグループと市が、美化活動の内容や役割分担について合意書を交わし、この合意書に基づき、地域住民や地元事業所等が、道路などの公共施設を愛情と責任をもって定期的かつ継続的に清掃活動等の美化活動を進めていくものです。

この効果として、道路などの美化活動としてだけでなく、散乱ごみ防止の啓発効果が期待できます。



地域住民・地元事業所等の役割、市の役割は次のとおりです。

（1）地域住民・地元事業所等の役割

地域住民、地元事業所等のボランティアグループが、道路、河川、公園等の公共施設を、市との合意に基づいて、清掃等の美化活動を行います。

（2）市の役割

地域住民、地元事業所等のボランティアグループとの合意に基づき、美化活動をサポートします。サポートの内容は、清掃用具やごみ袋の提供、ボランティア保険の加入、アダプトサインの設置、ゼッケンの貸与等です。